

12月13日(日)

講義

講義① 9:00～10:00

2020年のクマ動向

—札幌圏のヒグマを中心に—

講師:佐藤 喜和(環境共生学類 教授)

2019年は札幌市、北広島市だけでなく江別市にまでヒグマが出没したことで、都市住民にとってもヒグマ問題が身近なものとなりました。2020年は静かな1年となるでしょうか。ヒグマも冬眠に入り始める12月に改めて1年間のクマの動きについて振り返り、環境共生とクマ問題についてみなさんと考えたいと思います。

講義② 10:10～11:10

どうなってるの？

野幌のエゾシカ

講師:伊吾田 宏正(環境共生学類 准教授)

全道的に増えすぎて問題になっているエゾシカ。10年以上前から野幌森林公園にも分布を広げ、植生への影響や農林業被害などが懸念されます。この地域のエゾシカとどのように付き合っていくべきか、考えてみたいと思います。

対象:小学5年生～一般

受講料:1,000円

定員:50名

申込締切:11月20日(金)

会場:酪農学園大学 C1号館101教室